



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3266回例会・2019年11月6日

本日のプログラム

グループ談話【5】
『令和になり半年が過ぎ、
何か変化はありましたか?』

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

『ロータリーは世界をつなぐ』

R.I. 会長 マーク・ダニエル・マローニー

第3265回例会（10月23日）の記録

司会 石川(孝)親睦活動委員

会長挨拶 長屋会長

皆さん、こんにちは。今日は職場移動例会という事で北見赤十字病院さんでの例会でございます。主藤職業奉仕委員長有り難うございます。このように見ますと、普段の例会より職場移動例会の方が出席率が断然良いので、毎週職場移動例会にしてはどうかぁ～と思う訳でございますが…

私はいつも思うのですが、職場移動例会で我々はRCだからと言って、自分達の立場だけを考え、人の職場に来ての儀式「点鐘と言う鐘を鳴らし、ロータリーソングを歌い」をその行為が当たり前のような振る舞いに、甚だ疑問を持っていた訳でございます。それって角度を変えて考えてみたら、上から目線でクラブ本位の考え方でありまして、大変失礼な振る舞いではないのかと自分なりに思っておりました。今日は日赤さんもお忙しいとは存じますが、我々北見RCの会員も年々高齢化しておりまして、やがて皆さんが日赤さんのお世話になる日が近いかと思っておりますので、その所を考慮して頂きお願いしたいと存じます。

さて、日赤さんにおかれましては、昭和10年にこの北見の地に北海道野付牛療院として開業され、今年で84年の歴史がある訳でございます。私共、北見RCが今年で82年の歴史でございますから、私共のクラブの発足の2年前から誕生され、84年の歴史の中で人の命を救って来られた訳でございます。地域において人口流出もしくは人口減の要因は何と言っても「教育と医療」の充実が一番の決め手になる訳でございます。

教育と言う部分で申しますと、昔は資格を取るのに札幌だの東京だのと専門学校に行って資格を取り、そのまま向こうで就職、学生は北見には帰って来ませんでした。それが、今では地元の栗原学園で資格を取れる科目が充実し、地元で居ながらにして資格が取れるようになりました。これも北見にとっては人口減に歯止めを掛けている大きな要因であります。そして医療に関しましても、このオホーツク圏においては高度な医療の充実が中々望めなく、手術だの検査だのは矢張り旭川・札幌の大きな病院に行くケースが多かった訳でございますが、今では北見日赤さんが医療設備に関しましても旭川・札幌の病院と比較しても全く引けを取らない程充実された設備を完備し、地域住民の病気に対する治療、不安を取り除く事が出来た事による北見での将来的な定住感が浸透してきている訳でございます。本当にそういう意味においては感謝感謝でございます。

今日は皆様方もお世話になろうかと思っております北見日赤さんの最新設備等を見学して頂き、職場移動例会とさせていただきます。今日は有り難うございました。

幹事報告 潮田幹事

1. 先日行われました地区大会のお礼状が届いております。吉田ガバナーと青田実行委員長から届いておりますのでご報告させていただきます。

プログラム 職場移動例会 「北見赤十字病院」

主藤職業奉仕委員長

北見RC職業奉仕委員会という事で、ロータリーの手帳を見ますと、目的の一つとして『職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する』



という事が書かれております。そういった意味では、北見赤十字病院さんの高い倫理基準という事を意識されながら、日々地域の為に活躍をされているという風に思っております。その様な中で、地域医療の中核を成す北見赤十字病院さんの取り組みと医療体制を学ばせて頂く機会としてお願いをさせていただきました。それでは本日の講師であります北見赤十字病院の総務係長 高松 伸行様にご講演を頂きたいと思っております。

北見赤十字病院 総務係長 高松 伸行様

当院の理念が『人道・博愛に基づき、患者さまを尊重した医療を提供し、地域の期待と信頼に応えます』という事で、人道博愛というのは赤十字の精神にもあるのですが、平成10年に制定しまして、随時見直しをし、現在の理念がこちらという事で、この地域の皆様に医療を提供させて頂いております。そして基本方針が6つございます。『患者本位の医療を提供する、質の高い病院を目指します』『二次から三次の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します』赤十字の精神でもあります『国内外やオホーツク地域の災害・救護医療を担います』『すべての職員が成長出来、働く満足度の高い病院を目指します』それから院長の強いご意向で『次世代を担う人材育成の為に、教育・研修に努めます』そして最後に『健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に還元します』という、この6つの基本方針を謳って日々医療を提供させて頂いております。

病院の機能・認定という事で、救命救急センター、総合周産期の母子医療センター、それから基幹型の臨床研修病院という事で研修医の先生の受け入れ等も行っております。また地域のがん診療連携拠点病院としてがん治療にも力を入れておりますし、認知症疾患の医療センターやエイズの拠点病院の認定も受けております。

次に地域医療支援病院の説明ですが、地域の医療機関・診療所と当院が連携して患者さんの紹介や逆紹介を行いたいという国の取り組みの一つで、指定を受けて行っております。連携機関はこの地域で129、登録の先生方が154名という事で、オホーツク地域は約200km位の中で行っております。これは三次医療圏では全国9番目の広さで、岐阜県を上回る広さとなっております。網走や遠軽といったオホーツク三次医療圏の救急患者さんも来ていて、地域医療の最後の砦として医療を提供させて頂いております。救急車の台数になりますが、大体3,000から3,500台位を毎年受け入れているような形になっております。

最後になりますが、人は日々家族に守られ、友人や同僚に助けられ、地域に育まれて成長しております。医療もまた地域住民の理解と医療機関との連携によって守られ成長しております。地域で支え合い、適切な医療を提供出来る環境を育てたいという北見赤十字病院の思いで日々活動しております。この思いを感謝の言葉に込めて職員一人ひとりが成長を目指し、また皆様の健やかな毎日の為にこれからも努めて参りたいと思っております。全ての支援に応える為に、日々活動してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



【次回11月13日】 新入会員卓話 「私の趣味」

北海道ガス(株)北見支店 支店長 北本 満 会員

編集後記

冬の足音が聞こえ始めていますので、冬に向けた早目の準備を心掛けましょう。

(H.I)

2019～2020年度 北見R.C.活動方針

ロータリーに誇りを持ち行動する

地区大会とは

地区における最大の行事で、RI会長代理ご夫妻が臨席され、毎年度1回開催されます。その目的は、親睦、感銘深い講演と地区内クラブやR.I.全般に関する問題の討議によって、ロータリーの綱領を推進する事にあります。

2019～2020年度 北見RC

●会長/長屋 憲明

●幹事/潮田 豊

●週報編集/柏尾 典秀